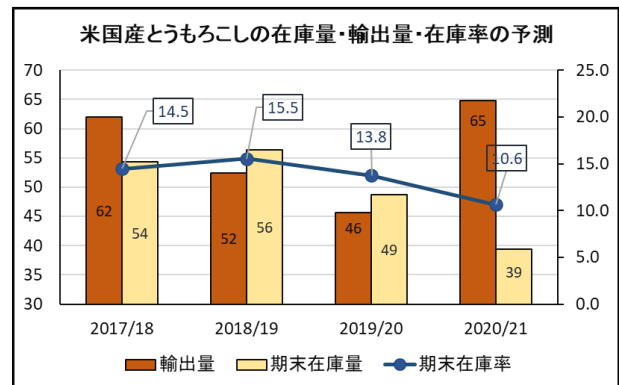
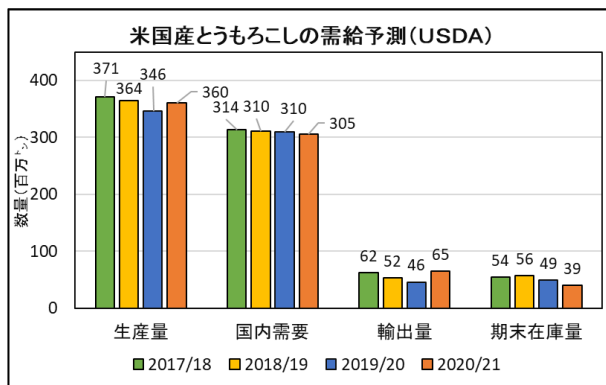


飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情について（令和3年1月）

○ 全日畜では、全日基の協力で「飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情」を提供します。

(1) 米国産とうもろこしの2020/21（令和2年9月～3年8月）年度の需給予測

【生産量】	3億6,024万ト	（前月予測比：▲826万ト）
【単収】	11.03 ト/ha	（前月予測比：▲0.24 ト/ha）
	（172.0 ブッシェル/エーカー）	
【国内需要量】	3億0,545万ト	（前月予測比：▲381万ト）
【輸出量】	6,477万ト	（前月予測比：▲254万ト）
【期末在庫】	3,940万ト	（前月予測比：▲384万ト）
【期末在庫率】	10.6%	（前月予測比：-0.84%）
	（世界の期末在庫率 24.6%）	



(2) 飼料穀物（シカゴ）相場及び為替相場の状況等

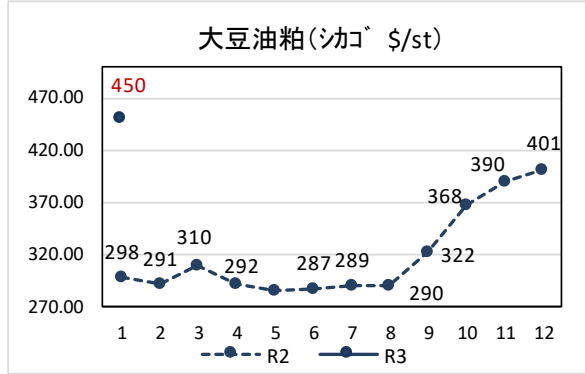
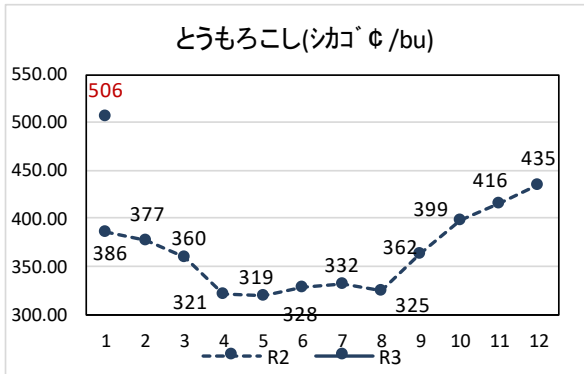
区分/月平均	9月	10月	11月	12月	1月	
とうもろこし（¢/ブッシェル）	362.3	398.9	415.6	435.5	506.1	↑
大豆油粕（ドル/ト）	322.4	367.6	390.3	401.1	450.2	↑
為替相場(円/ドル)	106.0	105.5	104.7	104.1	103.5	↓
フレート（ドル/ト）	49.7	49.1	48.1	50.6	52.2	↑

資料：飼料月報、業界紙等 直近月は月半ば(R3.1.15)までの平均値

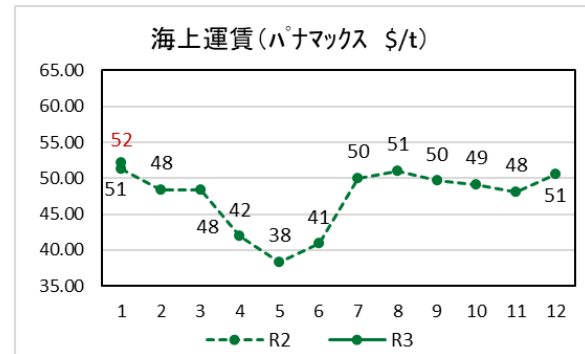
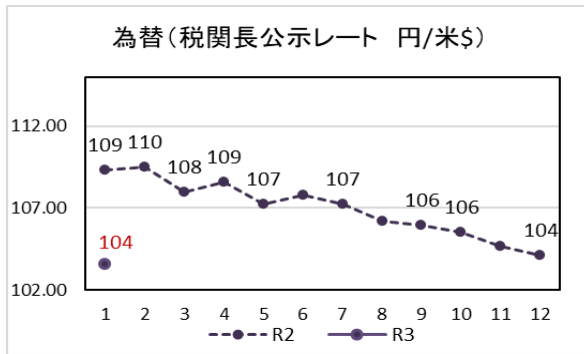
(注) 穀物価格はシカゴ相場の期近物平均、フレートはメキシコ湾岸～日本（平均）為替レートは税関長指示レート

(参考)

① シカゴ相場



② 為替、フレート



③ 配合飼料原料の輸入価格 (通関月ベース CIF 円/トン)

